

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成21年10月22日 (2009.10.22)

【公開番号】特開2009-9161(P2009-9161A)

【公開日】平成21年1月15日 (2009.1.15)

【年通号数】公開・登録公報2009-002

【出願番号】特願2008-254695(P2008-254695)

【国際特許分類】

G 0 9 G 3/36 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

G 0 2 F 1/137 (2006.01)

G 0 2 F 1/133 (2006.01)

【F I】

G 0 9 G 3/36

G 0 9 G 3/20 6 2 2 C

G 0 9 G 3/20 6 2 3 C

G 0 9 G 3/20 6 2 1 K

G 0 9 G 3/20 6 7 0 E

G 0 9 G 3/20 6 4 2 F

G 0 9 G 3/20 6 4 1 A

G 0 9 G 3/20 6 3 1 U

G 0 2 F 1/137

G 0 2 F 1/133 5 6 0

G 0 2 F 1/133 5 8 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月8日 (2009.9.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の最大電圧値および最小電圧値により定められる第 1 の範囲内の電圧を駆動電圧として用いる第 1 の動作モードおよび前記第 1 の範囲と最大電圧値および最小電圧値の少なくともいずれか一方が異なる第 2 の範囲内の電圧を駆動電圧として用いる第 2 の動作モードを含む複数の動作モードのうちいずれか一の動作モードに対応する駆動電圧を表示手段に印加する駆動電圧印加手段と、

前記表示手段の温度を示す温度情報を取得する温度情報取得手段と、

前記動作モードを切り換えるしきい値となる温度を示すしきい値情報を記憶するしきい値記憶手段と、

前記温度情報取得手段により取得された温度情報により示される温度が前記しきい値記憶手段に記憶されたしきい値情報により示される温度よりも低い場合は前記動作モードを前記第 2 の動作モードに決定する動作モード決定手段と

を有する表示駆動装置。

【請求項 2】

前記表示手段は、配向状態に応じた表示を行う記憶性液晶層を含み、

前記駆動電圧印加手段は、前記記憶性液晶層の配向状態を決定する選択電圧を印加する

選択期間を含み、各々異なる電圧波形に対応する複数の駆動段階に区分して、前記記憶性液晶層に駆動電圧を印加し、

前記所定の最大電圧値および最小電圧値は、前記選択電圧の最大値および最小値であることを特徴とする請求項 1 に記載の表示駆動装置。

【請求項 3】

駆動電圧を決定する基準となる第 2 の基準温度を取得する基準温度取得手段と、

前記第 1 の動作モードおよび前記第 2 の動作モードの各々における駆動電圧を特定するパラメータを温度毎に記憶するパラメータ記憶手段と
を有し、

前記駆動電圧印加手段が、前記パラメータ記憶手段に記憶されたパラメータのうち、前記基準温度取得手段により取得された前記第 2 の基準温度および前記動作モード決定手段により決定された動作モードに対応するパラメータに従って駆動電圧を供給する

ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の表示駆動装置。

【請求項 4】

表示手段と、

所定の最大電圧値および最小電圧値により定められる第 1 の範囲内の電圧を駆動電圧として用いる第 1 の動作モードおよび前記第 1 の範囲と最大電圧値および最小電圧値の少なくともいずれか一方が異なる第 2 の範囲内の電圧を駆動電圧として用いる第 2 の動作モードを含む複数の動作モードのうちいずれか一の動作モードに対応する駆動電圧を表示手段に印加する駆動電圧印加手段と、

前記表示手段の温度を示す温度情報を取得する温度情報取得手段と、

前記動作モードを切り換えるしきい値となる温度を示すしきい値情報を記憶するしきい値記憶手段と、

前記温度情報取得手段により取得された温度情報により示される温度が前記しきい値記憶手段に記憶されたしきい値情報により示される温度よりも低い場合は前記動作モードを前記第 2 の動作モードに決定する動作モード決定手段と

を有する電子機器。